



- **Well-Being** (p.1)
肉体的・精神的・社会的に健康であり、幸福・充実した状態であること。瞬間的な幸せの“Happiness”と異なり、持続的に幸福な状態であることを意味する。
- **Society 5.0** (p.1)
サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）のこと。
- **AI** (Artificial Intelligence) (p.1)
人工知能の略称。コンピューターの性能が大きく向上したことにより、機械であるコンピューターが「学ぶ」ことができるようになり、翻訳や自動運転、医療画像診断といった人間の知的活動に大きな役割を果たしつつある。
- **IoT** (Internet of Things /モノのインターネット) (p.1)
様々な物（コンピューター、スマートフォンに加え、衣服、白物家電、家屋など）をインターネットに接続すること。IoT機器の活用により、生活利便性の向上が図られる。
- **グリーンフィールド** (p.2)
造成地、埋立地、工場跡地など、現在人が住んでいない場所。対義語は「ブラウンフィールド」（既成市街地）。
- **ラストワンマイル** (p.4)
交通結節点（鉄道駅、バス停など）から最終目的地（就労先、自宅、通院先など）までの移動のこと。
- **脱炭素社会** (p.4)
二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いた値がゼロとなっている状態（カーボンニュートラル）が実現された社会のこと。
- **建築協定** (p.4)
良好な街並みの形成などを目的に、建築基準法に基づき、土地所有者等の関係権利者全員の合意により、区域内の敷地・建築物について、敷地の最低面積や敷地内の緑化、建築物の階数、建築物の色彩・意匠（デザイン）などをきめ細かく規制する制度のこと。



- **SDGs** (Sustainable Development Goals / 持続可能な開発目標) (p.5)
2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上に「だれ一人取り残さない」開発を図っている。
- **レジリエントな都市** (p.5)
2016年にOECD（経済協力開発機構）によって提唱された、予見が困難なショック（災害・感染症等）に対する、適応性・堅牢性・冗長性・柔軟性・資源豊富性・包括性・統合性のある都市システムを備えた都市のこと。
- **サステナブル** (Sustainable) (p.6)
「持続可能な」「ずっと続けていける」という意味。特に地球環境を保全しつつ持続が可能な産業や開発などを示す言葉。
- **ZEH** (Zero Energy House / ゼロエネルギー住宅) (p.8)
断熱性能等の大幅な向上・高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギー等を導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した住宅のこと。
- **ICT** (Information and Communication Technology) (p.8)
情報通信技術のこと。通信技術を活かしたコミュニケーションを意味し、ICTを活用したシステムやサービスが普及することで、社会インフラとして新たなイノベーション（技術革新）を生み出すことが期待されている。
- **ウォーカブルな都市空間** (p.8)
居心地が良く歩きたくなるまちなかのこと。
- **DX** (デジタル トランスフォーメーション) (p.9)
データとデジタル技術を活用して、企業や自治体などが戦略やサービス、プロダクト、業務フローなどを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセスなども改革し、競争上の優位性を確立すること。
- **シェアモビリティ** (p.9)
自動車・自転車などの移動手段を、所有するのではなく必要な際に借りることのできるサービスのこと。



- **パーソナルモビリティ**（p.9）
電動キックボード・マイクロカーなど、自動車よりコンパクトで小回りが利き、環境性能に優れ、地域の手軽な移動の足となる一人乗りのコンパクトな車両のこと。
- **スマートポール**（p.11）
携帯基地局や公衆Wi-Fi、人流解析カメラ、デジタルサイネージなどを搭載した多機能街路灯。
- **グリーンインフラ**（p.11）
社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境（公園・緑地など都市内に存在するものも含む）が有する多様な機能（生物の生息の場の提供、良好な景観形成、気温上昇の抑制等）を活用し、持続可能で魅力ある国土づくりや地域づくりを進めるもの（国土交通省による定義）。
- **コワーキング**（p.12）
事務所スペースや会議室などを共有しながら独立した仕事を行う共働ワークスタイルのこと。
- **スマートモビリティ**（p.12）
AI、自動運転、IoTを活用したセンサーなど、新たな技術を用いて交通・移動を変革するテクノロジーの総称。
- **電磁誘導線**（p.12）
路上を走行する電動車両に対して給電を行うために路面に埋設された、磁気を帯びた誘導線。
- **MaaS**（Mobility as a Service / サービスとしての移動）（p.12）
ICT技術などを活用し、バスや電車、タクシー、カーシェアリングなど、自家用車以外の全ての交通手段における経路検索・予約・決済などを、一つのサービスに結合すること。
- **コミュニティプラットフォーム**（p.13）
多様な主体が連携・協力して、地域の課題解決等に自主的・持続的に取り組んでいくための組織のこと。
- **エリアマネジメント**（p.14）
地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取り組みのこと。